

米国 製造業部門のモメンタムは緩やかに弱まっている

(06年6月ISM製造業景気指数)

発表日：2006年7月3日(月)

～在庫が減少し受注が拡大したことから製造業は良好な状態を維持しているとみられる～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : [seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp](mailto:seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp))

## ISM (the Institute for Supply Management) の推移

	総合	生産	雇用	在庫	入荷遅延	新規受注	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
05/06	54.0	56.3	50.4	47.5	53.1	57.2	51.0	50.5	51.2	54.2
05/07	56.4	60.5	53.2	47.9	52.3	60.0	49.0	48.5	55.8	54.7
05/08	53.5	55.9	52.9	46.1	50.6	55.8	50.5	62.5	54.5	53.4
05/09	58.0	61.7	53.1	49.0	58.6	60.7	55.0	78.0	57.3	53.4
05/10	58.1	60.8	54.9	48.4	60.8	59.9	55.5	84.0	55.2	58.2
05/11	57.3	60.2	56.0	49.3	56.9	58.5	53.0	74.0	57.9	54.1
05/12	55.6	57.8	53.6	47.3	52.9	59.1	49.5	63.0	54.3	52.8
06/01	54.8	56.6	51.3	46.5	55.3	58.0	53.5	65.0	58.5	57.0
06/02	56.7	57.4	55.0	49.6	52.2	61.9	54.5	62.5	57.0	57.5
06/03	55.2	57.5	52.5	48.7	53.1	58.4	59.5	66.5	57.3	57.0
06/04	57.3	60.4	55.8	51.3	57.7	57.6	57.0	71.5	53.4	59.0
06/05	54.4	57.2	52.9	48.0	57.6	53.7	53.0	77.0	55.7	56.5
06/06	53.8	55.1	48.7	46.9	55.0	57.9	54.0	76.5	55.4	56.5

### 53.8と前月比0.6 ポイント低下し市場 予想を下回った

06年6月のISM製造業景気指数は、53.8と市場予想の55.0への上昇に反し、前月から0.6ポイント低下した。指数を構成する5項目では、新規受注が前月から上昇した一方、雇用、生産、在庫、入荷遅延が前月から低下した。

しかし、拡大した業種数は20業種中14業種(前月13業種)に増加した。また、ISM製造業景気指数は国内需要の堅調と世界的な需要の拡大を背景に高い水準を維持している。加えて、受注が拡大するなかで在庫が減少したことからISM製造業景気指数に1、2ヵ月先行する新規受注・在庫比率が上昇しており、ISM製造業景気指数は一本調子で低下しない可能性が高い。

以上のことから、製造業部門のモメンタムは緩やかに弱まり、底固く推移すると予想される。

### 製造業受注の拡大ペースは今後小幅加速

個別にみると、生産指数は高水準を維持したものの(38ヵ月連続で50を上回った)、前月から2.1ポイント低下し、拡大した業種数も12業種(前月13業種)に減少した。このため、製造業生産(FRBベース)は基調を示す3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で7月に拡大ペースが減速すると予想される。

一方、新規受注指数は38ヵ月連続で拡大縮小の分岐点である50を上回り、前月から4.2ポイント上昇した。拡大した業種数も14業種(前月9業種)と大幅に増加しており、製造業部門が底固く推移することを示唆している。この結果、製造業受注(商務省ベース)の拡大ペースは3ヵ月前対比年率で小幅加速すると予想される。

**企業は在庫抑制姿勢を再び強めた**

在庫面では、在庫指数が46.9と前月から1.1ポイント低下し2ヵ月連続で50を下回った。このような中で、在庫を増やした業種数が20業種中7業種（前月5業種）と増加し、新規受注と同時に在庫が増加する前向きな在庫拡大が6業種（前月2業種）と増加したことから、一部企業は前向きな在庫の積み増しを行ったとみられる。

一方、新規受注が減少する下で、在庫が増加する悪い在庫増となった業種は1業種（前月3業種）にとどまり、さらに新規受注が増加したなかで在庫が減少している業種が7業種（前月7業種）と多く、企業は再び在庫抑制姿勢を強めていると判断される。

**貿易赤字は高水準持続**

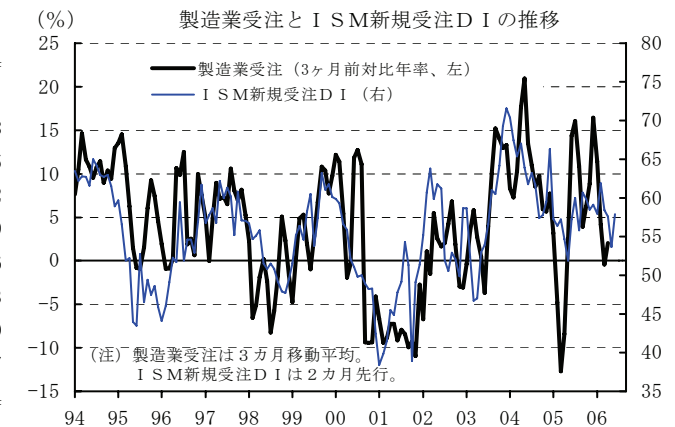
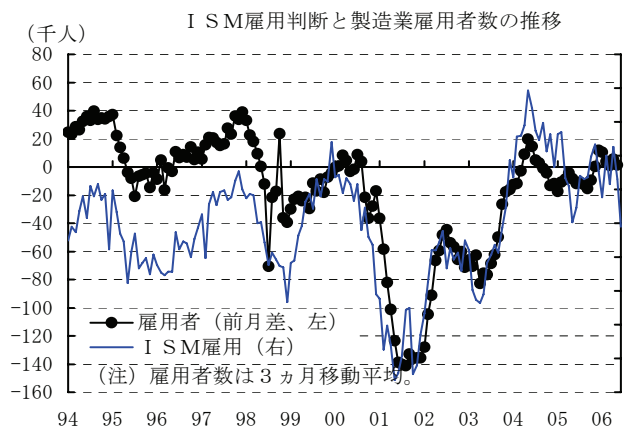
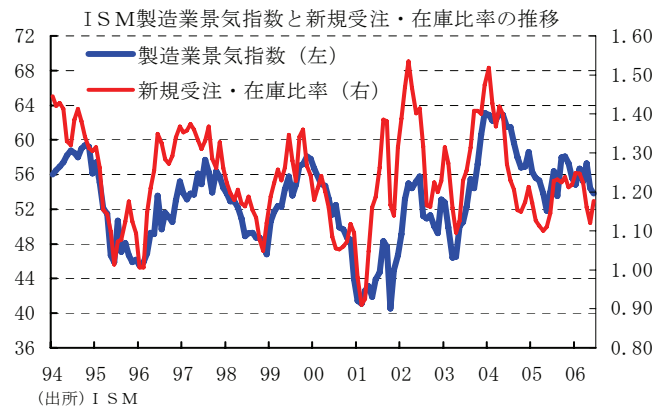
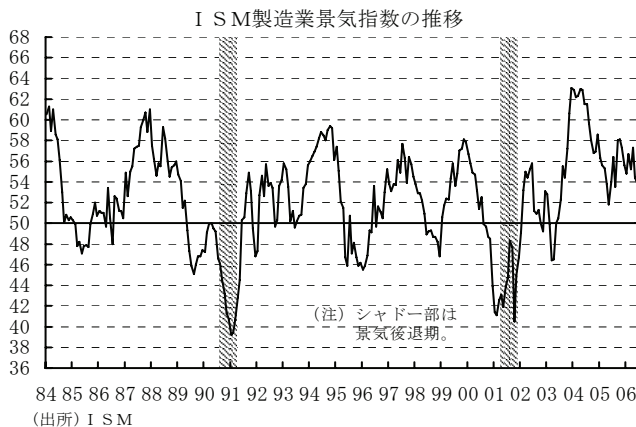
外需関連では、輸出受注は55.4と前月の55.7と小幅低下にとどまった。通関統計に3ヵ月先行する3ヵ月移動平均では3月にピークに低下していることから、輸出（通関ベース）の拡大ペースは6月以降伸びが鈍化しよう。一方、輸入指数は56.5と前月と変わらずとなり、高い水準を維持した。このため、通関ベースでの輸入の増加ペース加速を示唆していることから、貿易赤字額は高水準で推移する可能性が高い。

**製造業雇用は減少に転じる可能性**

雇用関連では、増加した業種が11業種と前月と変わらなかったものの雇用指数が48.7（前月52.9）と10ヵ月ぶりに50を下回ったことから、製造業雇用者数は6月に減少に転じる可能性が高い。

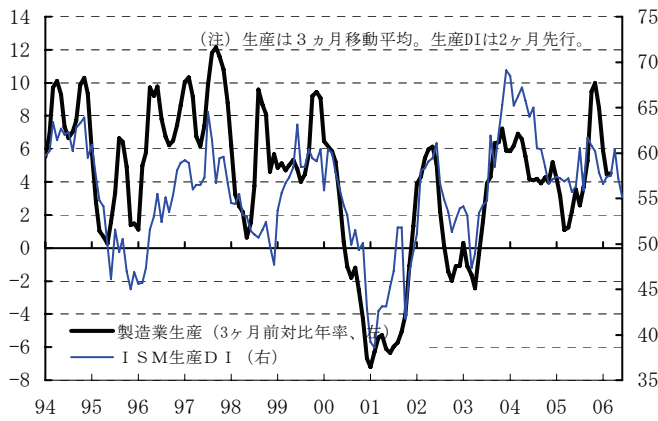
**川中での物価上昇圧力が一段と強まる公算**

物価面では、商品価格指数（仕入れ価格）は76.5と商品価格やエネルギー価格の下落によって前月から低下したが高い水準を維持している。このため、商品価格指数に遅れて動く傾向があるPPI（中間財コア、3ヵ月前対比年率）は6月に一段と伸び率が加速する可能性が高い。

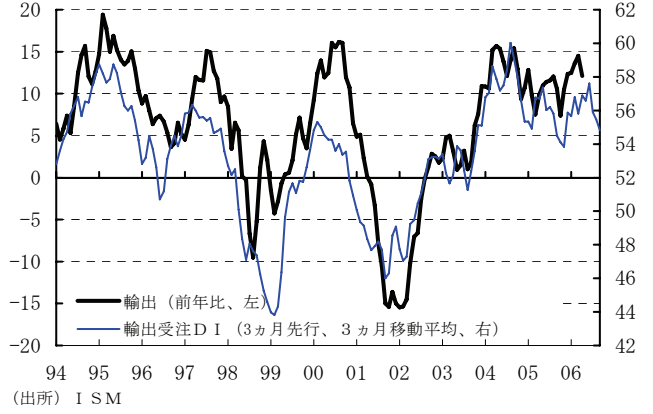


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

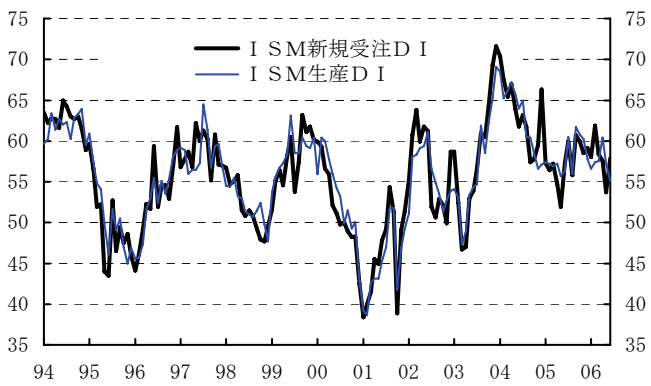
(%) I S M生産判断と製造業生産の推移



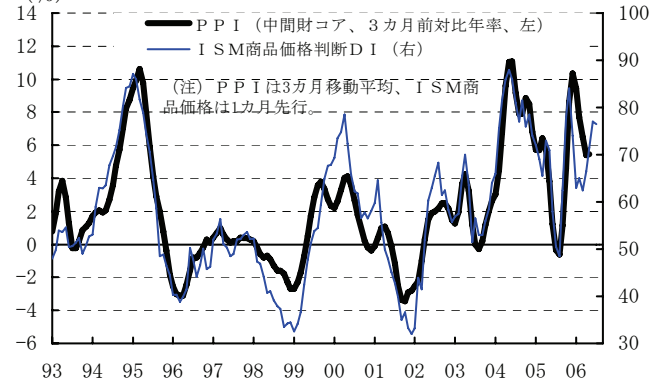
(%) 財輸出と I S M輸出受注判断指数の推移



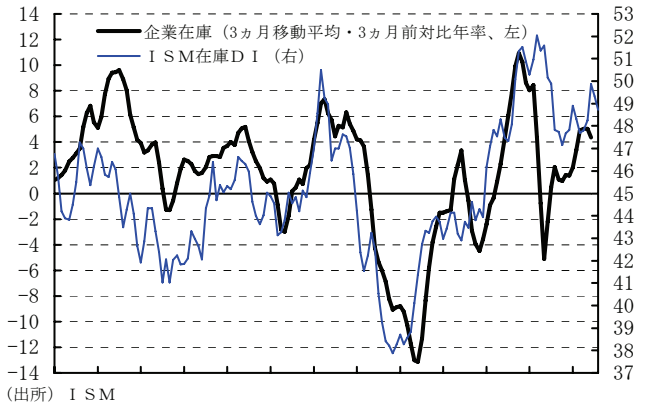
(%) I S M新規受注指数と生産指数の推移



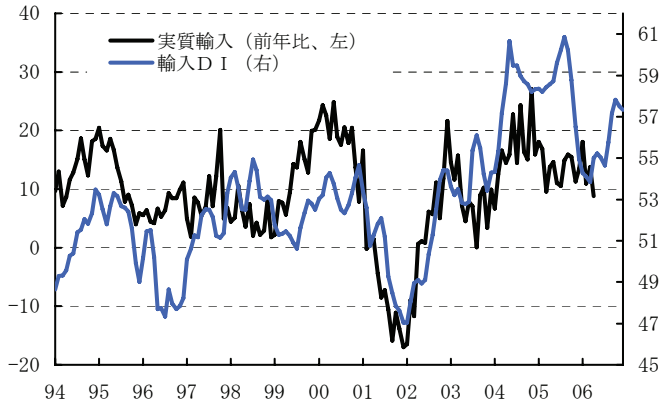
(%) 生産者物価と I S M価格判断指数の推移



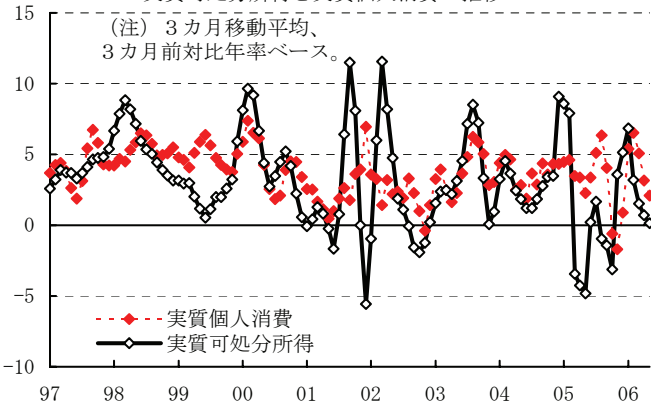
(%) I S M在庫判断と企業在庫の推移



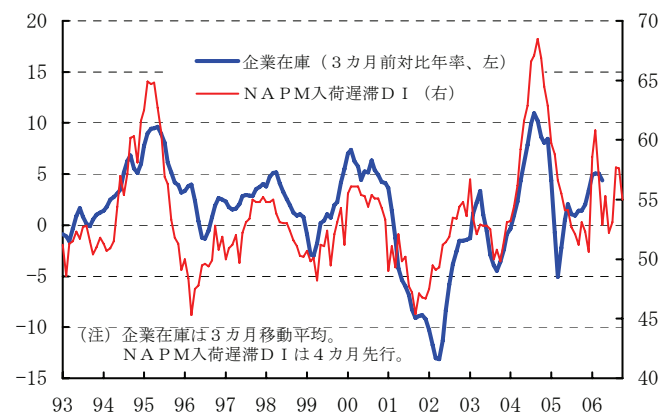
(%) 実質財輸入と N A P M輸入判断指数の推移



(%) 実質可処分所得と実質個人消費の推移



(%) N A P M遅配判断指数と企業在庫の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であると限りません。